

大地とは

大地は、長野県北部の聖山にある小さな幼稚園です

果樹園や水田、雑木林に囲まれた自然豊かなこの場所は、

30年ほど前、子どもたちと自然の中で暮らしたいという思いから、

ほとんど自力で開墾・開拓し、園舎も手づくりで築き上げてきました。

これまでに300名を超える子どもたちが、
この場所で豊かな幼児期を過ごしています。





ここでは、子どもたちは園に通うというより、
青山家の暮らす家に遊びに来るように日々を過ごします。
大地が大切にしてきたのは、
特別な理念よりも「子どもたちとの自然な暮らし」。

化学エネルギーに頼らず、
できるだけオーガニックな食事と農のある生活を大切にすること。
テレビやスマートフォンなどのメディアとは距離を置き、
わらべ歌やおはなし、6000冊を超える図書文庫を楽しむこと。
静と動、陰と陽——自然のサイクルに沿ったリズムで日々を重ねること。





大地は、家庭と変わらないぬくもりの中で、
人の息づかいや暮らしの空気を感じながら過ごす幼稚園です。



著者

さいしょ あつよし
税所 篤快

19歳のとき、失恋と1冊の本をきっかけにバングラデシュへ。同国初の映像授業プログラム e-Educationを立ち上げ、最貧の村ハムチャーから国内最高峰 ঢাকা大学の合格者を輩出する。その後、中東のパレスチナ難民キャンプ、アフリカのソマリランドなどでプロジェクトを展開。2021年、長野県小布施町へ引っ越し幼稚園「大地」に出会う。現在はドイツ・ザールラント在住。ドイツの風力発電企業 WENSSYSにて、世界各地の風車プロジェクトに取り組んでいる。著書に、『前へ！前へ！前へ！』『最高の授業を世界の果てまで届けよう』『未来の学校のつくりかた』『僕、育休いただきたいっす！』などがある。3児の父。

大地との遭遇

こんな幼稚園ありかよ

世界の教育現場で“最高の教育”を追い求めてきた著者が、
“子育ての理想郷”で学んだこと。

東京での子育てに煮詰まっていた著者は、縁あって長野の小布施に移住、
そこで幼稚園「大地」と出会う。雪山をソリで疾走し、
星空のもとでキャンプをし、たき火を囲み本気のお話会をする。
親子で飛び込んだ圧巻の2年間の日々と、
主宰する「あおちゃん」夫妻の軌跡、卒園生たちのその後。

子どもと一緒に豊かに生きる。
なぜかそれが難しい時代に奮闘する、すべての人へ。

園舎も遊具も自作、無農薬で作物を育てて食べ、
できるだけ電気や化石燃料を使わない。
「生活をつくる力」が満ちる、オーガニックエッセイ。